

議事次第

2021年6月28日(月)16:00～18:00

オンライン形式

1. 開会

2. 議事

- (1) 2021年度 第1回委員会の運営について
- (2) 2020年度 第3回委員会議事概要の確認
- (3) 2020年度実施結果概要(報告)
- (4) 2020年度実施に関するアンケート調査の結果(報告)
- (5) 2021年度実施に向けた主な論点
- (6) 今後のスケジュール

※(5)および(6)については、非公開を想定

3. 閉会

配 付 資 料

P.1	資料1	議事次第
P.3	資料2	委員名簿
P.4	資料3	2020年度 第3回委員会議事概要
P.5	資料4	2020年度 実施結果概要
P.11	資料5	2020年度 アンケート結果
P.24	資料6	2021年度実施に向けた主な論点
P.44	資料7	今後のスケジュール

別冊 P1	参考資料1	海外インフラプロジェクト技術者評価委員会設置要綱
別冊 P3	参考資料2	令和2年度 実施要領
別冊 P14	参考資料3	令和2年度 運用細則
別冊 P18	参考資料4	プレスリリース(2021年2月9日)「海外インフラプロジェクトに携わる技術者を初めて認定・大臣表彰！」

海外インフラプロジェクト技術者評価委員会

委員名簿

委員長	小澤 一雅	東京大学 特任教授
委員	池田 龍彦	横浜国立大学 名誉教授
委員	加藤 佳孝	東京理科大学 教授
委員	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 教授
委員	北野 尚宏	早稲田大学 教授
委員	塚田 幸広	(公社)土木学会 専務理事
委員	中澤 慶一郎	独立行政法人国際協力機構 理事
委員	深澤 淳志	(一財)日本建設情報総合センター 理事長
行政委員	山田 邦博	国土交通省 技監
行政委員	山上 範芳	国土交通省 国際統括官
行政委員	浅輪 宇充	国土交通省 大臣官房技術総括審議官
行政委員	石原 康弘	国土交通省 大臣官房海外プロジェクト審議官
行政委員	東川 直正	国土交通省 大臣官房技術審議官
行政委員	下野 浩史	国土交通省 大臣官房官庁営繕部長

(委員は五十音順・敬称略)

※所属は令和3年6月28日現在

2020年度 第3回 海外インフラプロジェクト技術者評価委員会 議事概要（案）

【日時】2021年1月29日（金）～2021年2月5日（金）

【形式】メールにて持ち回り開催

【議事】

- （1）第2回委員会議事概要の確認
- （2）第2回の審議を受けた対応について
- （3）表彰の名称及び受賞者案について
- （4）その他

【出席者】

委員長 小澤 一雅 東京大学 教授
委員 池田 龍彦 放送大学 副学長
委員 加藤 佳孝 東京理科大学 教授
委員 蟹澤 宏剛 芝浦工業大学 教授
委員 北野 尚宏 早稲田大学 教授
委員 塚田 幸広（公社）土木学会 専務理事
委員 中澤 慶一郎 独立行政法人国際協力機構 理事
委員 深澤 淳志（一財）日本建設情報総合センター 理事長

行政委員 山田 邦博 国土交通省 技監
行政委員 山上 範芳 国土交通省 国際統括官
行政委員 浅輪 宇充 国土交通省 大臣官房技術総括審議官
行政委員 石原 康弘 国土交通省 大臣官房海外プロジェクト審議官
行政委員 東川 直正 国土交通省 大臣官房技術審議官
行政委員 下野 浩史 国土交通省 大臣官房官庁営繕部長
（委員は五十音順・敬称略）

【概要】

- （1）第2回委員会議事概要について、持ち回りにて了承された。
- （2）第2回の審議を受けた対応について、持ち回りにて了承された。
- （3）表彰の名称及び受賞者案について、持ち回りにて了承された。

（以上）

2020年度 技術者認定・登録実績

実績認定件数	認定数	建設会社		
		建設会社	建設 コンサルタント	その他
受付企業等数 (申請企業等数)	45社 (46社)	26社 (27社)	17社 (17社)	2社 (2社)
認定証対象事業数 (申請事業数)	366事業※ (422事業)	151事業 (167事業)	212事業※ (252事業)	3事業 (3事業)
認定証対象者数 (申請者数)	707名※ (742名)	575名 (607名)	126名※ (129名)	6名 (6名)
認定証発行件数 (申請件数)	1080件※ (1203件)	708件 (763件)	362件※ (430件)	10件 (10件)

※審査に不備があったことが判明したことによる認定取り消しのため、令和3年3月11日公表時点から1事業・1名・1件減となっている。

コリンズ・テクリス等登録件数	合 計	建設会社		
		建設会社	建設 コンサルタント	その他
登録希望件数	708件	485件	223件	0件
審査済件数 (確認願い押印返送済み)	118件	79件	39件	0件
企業がコリンズ・テクリス等 への登録を完了した件数	95件	83件	12件	0件

【2021年6月21日時点】

大臣賞及び奨励賞 表彰件数

	表彰件数								
				国土交通 大臣賞			国土交通 大臣奨励賞		
		工事	業務等	工事	業務等	工事	業務等	工事	業務等
合計 (応募数)	28名 (61名)	22名 (39名)	6名 (22名)	17名	13名	4名	11名	9名	2名

2020年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞

2020 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer

(Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名
1	相川 秀一	東洋建設 (株)	ミャンマー	ティラワ港コンテナターミナル建設工事
2	岩田 修	西松建設 (株)	香港	セントラルカオルーン幹線道路新設工事ホームマンティン立坑工区
3	宇都宮 真理子	日本コンサルタンツ (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業 (MRT南北線フェーズ1) 運営維持管理支援
4	大縄 泰平	佐藤工業 (株)	シンガポール	地下鉄ダウンタウン線 (第3期) 936工事 (バンクーレン駅建設工事)
5	大西 陽子	(株) 大林組	インドネシア	タンジュンプリオク港アクセス道路建設事業 (II) E2A工区・パッケージ3
6	木之下 一也	東亜建設工業 (株)	ガーナ	セコンディ水産業振興計画
7	坂本 雅信	清水建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・104/105工区
8	鈴木 嗣成	五洋建設 (株)	香港	香港国際空港第三滑走路建設地盤改良工事(第1工区)
9	田部 元太	(株) 大林組	バングラデシュ	カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設・既存橋改修事業
10	豊田 高士	八千代エンジニアリング (株)	フィジー	ナンディ川洪水対策策定プロジェクト
11	南條 大助	(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務
12	野村 泰由	東急建設 (株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
13	橋詰 亮	(株) フジタ	香港	香港国際空港西エプロン拡張工事・546工事
14	福原 教仁	(株) 日本空港コンサルタンツ	フィリピン	新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業
15	松野 憲司	(株) IHIインフラシステム	ベトナム	ニャットン橋 (日越友好橋) 建設事業 パッケージ1
16	丸二 信彦	三井住友建設 (株)	タンザニア	タザラ交差点改善計画
17	若松 友二	飛島建設 (株)	東ティモール	コモロ川上流新橋建設計画

2020年度海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞

2020 Minister's Encouragement Award for Outstanding International Infrastructure Engineer (Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award)

番号	氏名	企業名	国/地域名	プロジェクト名
1	赤城 嘉紀	JFEエンジニアリング(株)	ラオス	国道九号線橋梁改修計画
2	梅木 知裕	八千代エンジニアリング(株)	スーダン	統合水資源管理能力強化プロジェクト
3	上床 和輝	新菱冷熱工業(株)	アラブ首長国連邦	アブダビ首長国アブダビ国際空港拡張に伴う地域冷房プラント-1建設工事
4	岡部 真佳	清水建設(株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・103工区
5	杵築 秀征	西松建設(株)	香港	地下鉄観塘延伸線1001工事
6	黒田 杏	五洋建設(株)	シンガポール	センカン総合病院建築工事
7	清水 憲一	飛島建設(株)	パラオ	上水道改善計画
8	高岡 泰弘	日本工営(株)	ミャンマー	新タケタ橋建設計画
9	滝 直也	(株)IHIインフラシステム	ベトナム	ニャットン橋(日越友好橋)建設事業 パッケージ1
10	中田 直樹	東急建設(株)	インドネシア	ジャカルタ都市高速鉄道事業・101/102工区
11	村松 敬哲	東亜建設工業(株)	ガーナ	セコンディ水産業振興計画

(五十音順・敬称略)

2020年度 海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰式

○海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績を認定するとともに、特に優秀な技術者を表彰する制度をR2に創設し、2021年2月9日に認定証発行・受賞者の発表を実施。
 ○3月24日に28名の表彰者に対しオンラインにて表彰式を実施した。



□ 第1回 海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰式
 をYouTubeで公開中

□ URL: <https://youtu.be/tQFvtYfvPCE> YouTube

表彰式の実施の様子

2020年度に実施した広報活動の報告

○2月9日、技術者認定・表彰制度の認定証発行・受賞者をプレスリリース。
 ○3月24日、28名の表彰者に対し、オンライン表彰式を実施し、状況をツイッター、HPで周知。
 ○技術者表彰者の(顔写真・プロジェクト・メッセージ)をまとめたパンフレットを公開予定。

【認定・表彰のプレスリリース】

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和3年2月9日
大臣官房 技術調査課・公共事業調査室
総合政策局 国際政策課・海外プロジェクト推進課

海外インフラプロジェクトに携わる技術者を初めて認定・大臣表彰!

国土交通省は、今後の海外進出や国内外の技術者の相互活用を促進するため、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な者について表彰する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」を令和2年度から創設しています。
 このたび、初回として、1,077件の認定証を発行するとともに、優れた技術者28名を表彰することを決定しましたのでお知らせします。

- 1. 制度の概要について**
 国土交通省では、技術者の国内・海外間での相互活用の促進を図ることを目的に、海外インフラプロジェクトに従事した技術者の実績を認定するとともに、特に優秀な技術者を表彰する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」を令和2年度から創設し、令和2年9月30日～10月30日にかけて認定申請・表彰応募を併せて募集を行い、「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会(委員長:小澤一雅東京大学教授)」での審議を踏まえ、以下の通り決定したものです。
 本制度により認定・表彰した実績については、今後、国交省発注の工事等において、技術者の能力等として評価していくことを予定しています。
 (制度の概要は別紙1・委員会の概要は別紙2参照)
- 2. 実績の認定(認定証の発行)について**
 46の企業等から合計1,199件の認定申請があり、審査の結果、事実関係の確認できた1,077件について、認定証を発行することといたしました。なお、重複を除いた対象技術者数は708名となります。(実績認定件数の詳細は別紙3参照)
- 3. 国土交通大臣表彰について**
 38社から計61名の表彰応募があり、審査の結果、国土交通大臣賞17名、国土交通大臣奨励賞11名の計28名の受賞者を決定しました。
 (表彰件数の詳細は別紙3参照。受賞者の一覧は別紙4(国土交通大臣賞)・別紙5(国土交通大臣奨励賞)参照)

【表彰式をTwitterで発信(3/24)】

国土交通省 @MLIT_JAPAN · 3月24日

【海外インフラプロジェクトに携わる技術者を初めて表彰】
 「海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞及び大臣奨励賞」の表彰式を3月24日にオンラインで開催しました!
 受賞者からは海外インフラプロジェクトのやりがいや受賞に対する喜びの声をいただきました。

#インフラ #国土交通省

9 retweets, 33 likes

【技術者表彰者のパンフレットの作成】

国土交通省

国際

国土交通大臣賞・国土交通大臣奨励賞 受賞者

国土交通省

宇都宮 真理子 日本コンサルタンツ(株)
 ジャカルタ都市高速鉄道事業(MRT南北線フェーズ1)運営維持管理実施(インドネシア共和国)

本プロジェクトはインドネシアの地下鉄を運営する鉄道事業者PT. MRTの開業準備及び開業後支援を行うものであり、同社の若い鉄道技術者たちと連携しながら、組織のルールや体制を作ってきました。コンサルタントとしては、2019年3月開業という必至目標のもとで高いプレッシャーにさらされる環境に寄り添い、課題を一つ一つ解決するのが仕事ですが、日本の鉄道事業者の経験があるとはいえ、インドネシアの文化や環境にあった解決方法を提案し、理解してもらい、そして実行に移すのは簡単ではありません。それでも日本でやってきたことが役に立ったと感じる瞬間や、創意工夫を駆使する姿があり、鉄道エンジニアとしての醍醐味を存分に味わうことができました。

2021年2月からはジャカルタにて次期プロジェクトに従事しています。今後も同国の鉄道発展のため、努力を怠りません。

(パンフレット)



(表彰状(左)と副賞の盾(右))

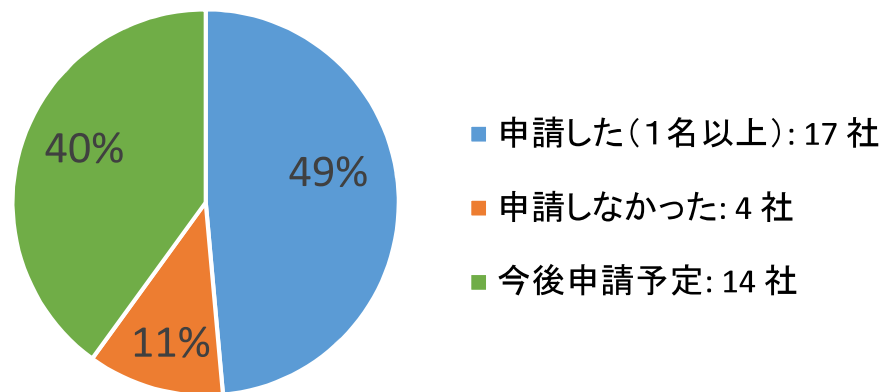
海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度 アンケート結果

調査期間：2021年6月8日-2021年6月15日
依頼先数：46社（2020年度において本制度に申請・応募した企業を対象）
回答数：35社
回答率：76%

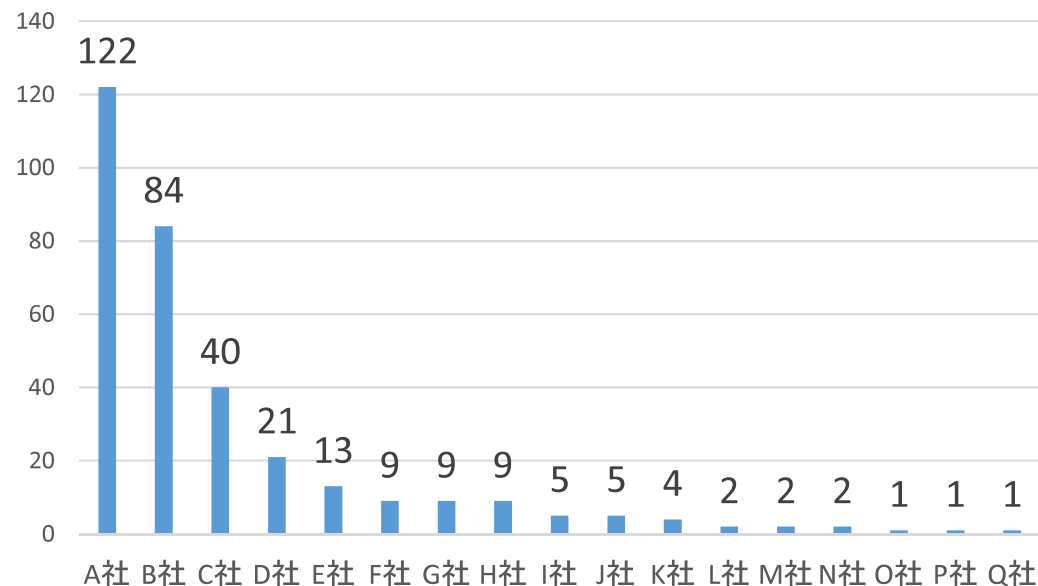
認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q1~Q4 (アンケート回答者の氏名や属性に関する情報を確認)

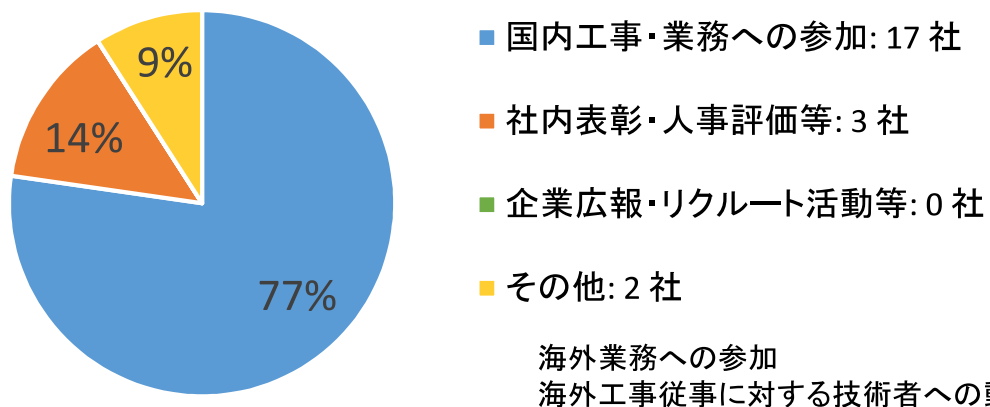
Q5 【認定】2020年度に認定された事業について、コリンズ・テクリス又はPUBDISへの登録申請状況を教えてください。



Q6 【認定】5で、“申請した”に回答頂いた方に質問します。何名登録申請したのかお聞かせください。

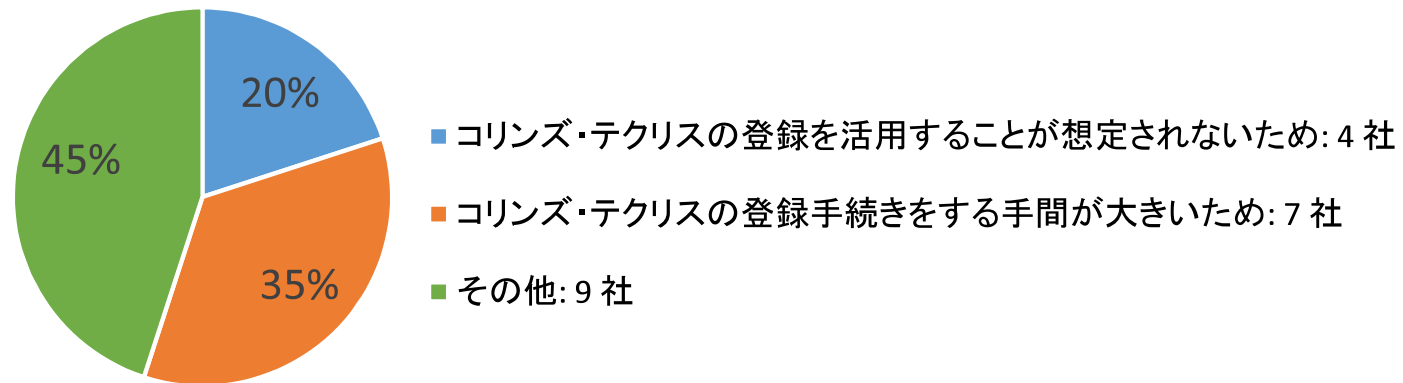


Q7 【認定】5で、“申請した”に回答頂いた方に質問します。活用方法をお聞かせください。(その他には、自由記述にて回答ください。)※複数選択可



海外業務への参加
海外工事従事に対する技術者への動機づけ向上

Q8 【認定】5で、“申請しなかった”または“今後申請予定”に回答頂いた方に質問します。申請をしなかった理由をお聞かせください。(その他には自由記述にて回答ください。)※複数選択可

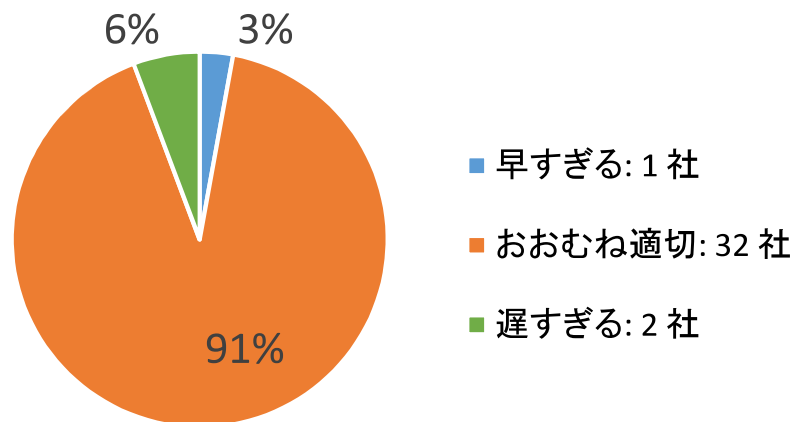


(その他の理由)

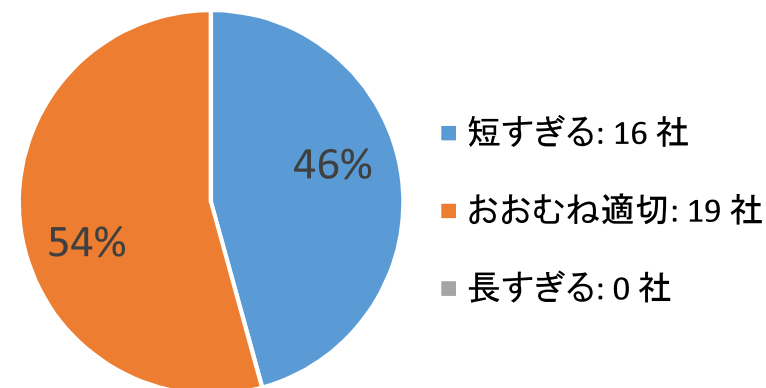
- 独立行政法人は受注者としてテクリスに実績登録等することができないため。
- 以前、企業先側のサインが得られないため申請を断念していた。この辺りがクリアできていれば、申請を進めたい。
- 現在、発注者へ申請書類を確認中。
- 現場代理人、監理技術者に関して再確認が必要となったため。
- 認定取得を優先し、その後申請手続きを行う予定であった。
- コリンズの登録技術者には人数制限があり、JVパートナー間で登録技術者の選定に時間を要するため。
- 登録手続きの準備に時間を要している。

認定・表彰制度についてのアンケート結果

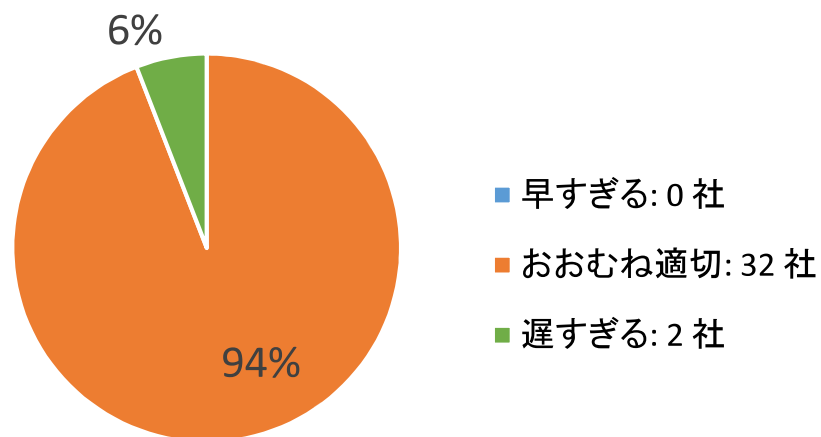
Q9 【共通】2020年度に実施した認定・表彰の、申請時期(2020年度の募集期間は、9/30~10/30)についてお聞かせください。



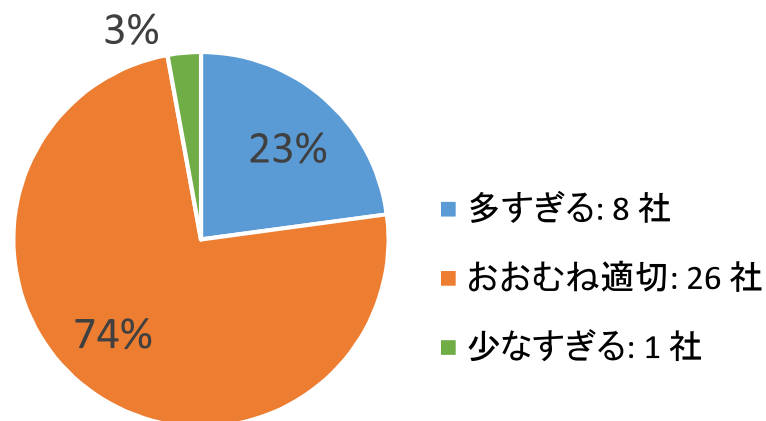
Q10 【共通】2020年度に実施した認定・表彰の、申請期間(2020年度の募集期間は、9/30~10/30)についてお聞かせください。



Q11 【共通】2020年度に実施した認定・表彰の、決定時期(2020年度は、2021年2月上旬)についてお聞かせください。

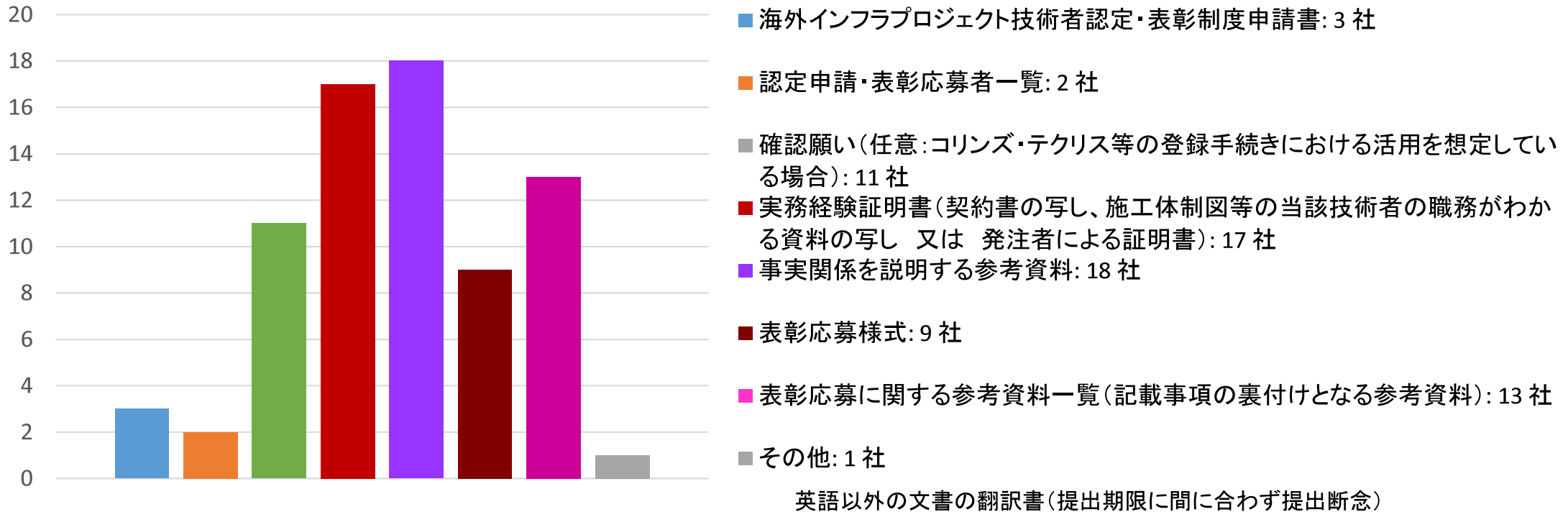


Q12 【共通】2020年度に実施した認定・表彰の、申請書類の量についてお聞かせください。

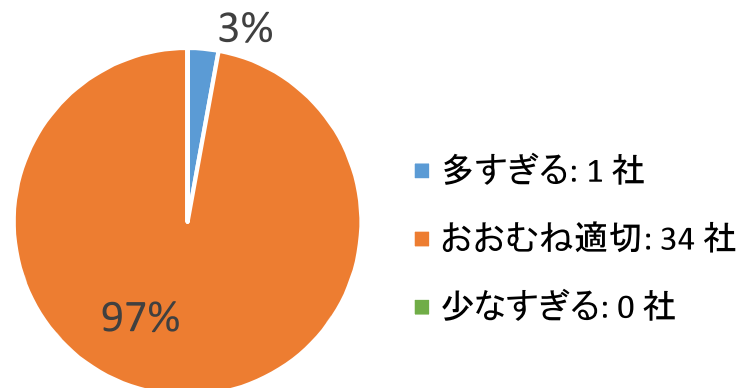


認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q13 【共通】申請書類について、準備に手間・時間がかかったものをお聞かせください。(複数回答可)

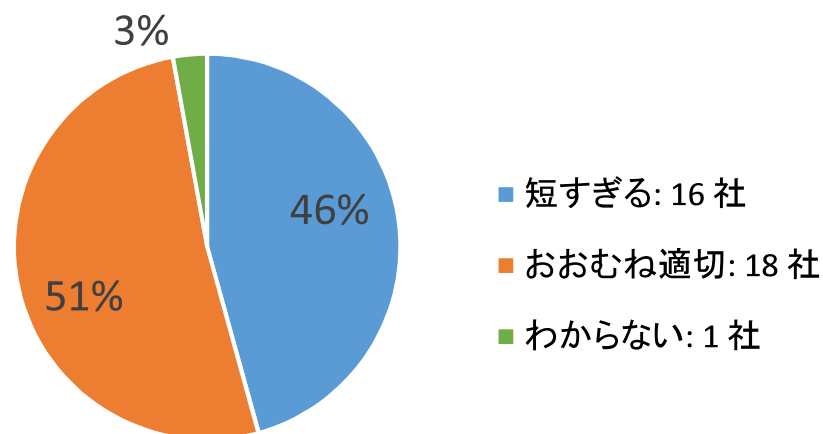


Q14 【共通】2020年度に実施した認定・表彰の、申請後の(事務局からの)問合せについてお聞かせください。

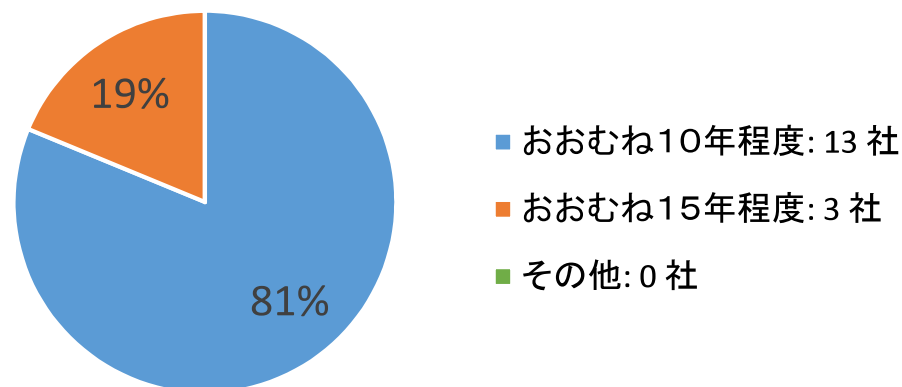


認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q15 【共通】認定・表彰制度の対象期間(2020年度は過去5年)について、お聞かせください。

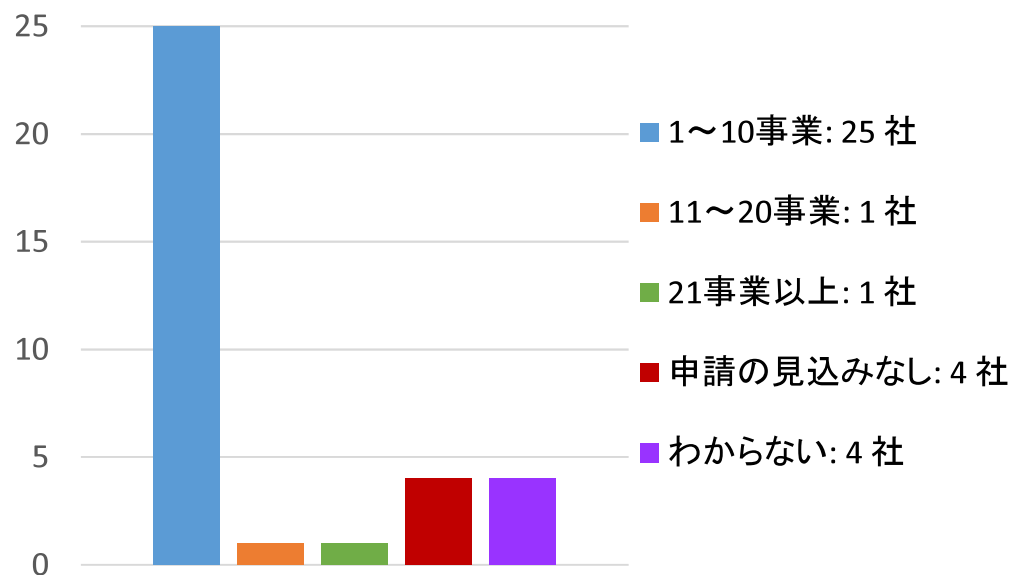


Q16 【共通】15で「短すぎる」と回答した方に質問です。対象期間を過去何年にするのが適切と思われるか、お聞かせ下さい。

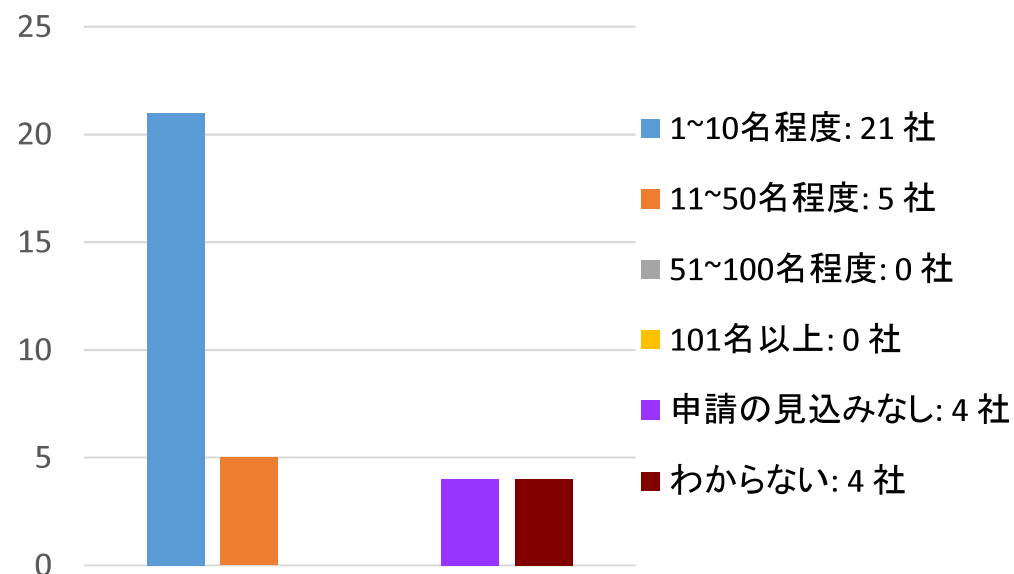


認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q17 【認定】認定対象期間を過去5年(現行)を前提とした場合、2021年度の認定申請(事業数)の見込みについて教えてください。



Q18 認定対象期間を過去5年(現行)を前提とした場合、2021年度の認定申請(技術者数)の見込みについて教えてください。



Q19 【認定】17, 18で、“申請の見込みなし”に回答頂いた方に質問します。申請の見込みなしとした理由をお聞かせください。(複数回答可)

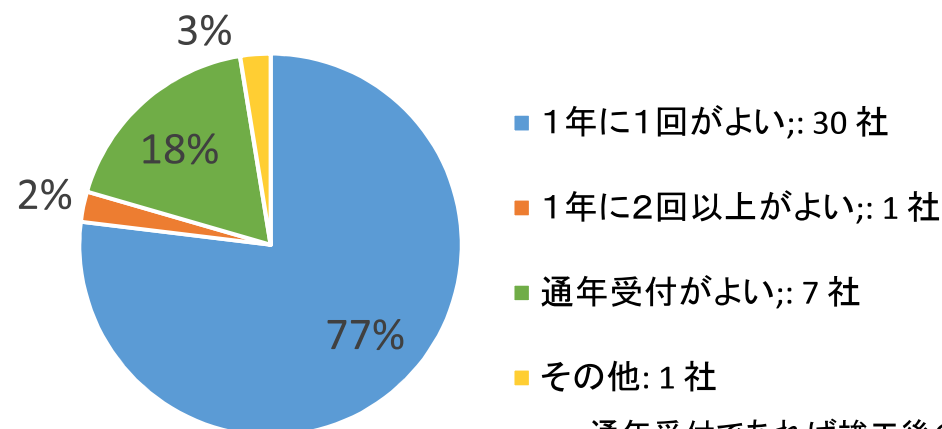
該当実績がないため;	4
本制度の活用予定がないため;	0

認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q20 【認定】認定制度の対象事業として追加を希望する事業形態がありましたらご回答ください。

- 下請けでの事業参画
- プラント工事等の民間事業
- 電力等のインフラ事業であれば、発注者が民間であっても対象としてほしい。
- 申請資格にある「政府機関に準じる法人」の対象を明確にしてほしい。「民間の発注工事」および、下請企業として受注しているプロジェクトも申請対象として含めてほしい
- インフラ輸出に関連する調査業務
- 外国籍社員が現場代理人や監理技術者の立場に就いた工事については、(コリンズ・テクリスの)システムの制約により認定申請できないため、改善を望む。

Q21 【認定】認定の受付時期についてお聞かせください。(複数回答可)

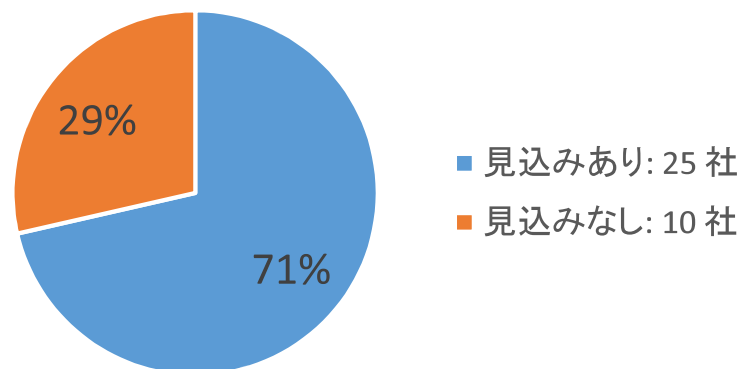


通年受付であれば竣工後の都度申請ができ、期限に追われることもなく省力化ができる。

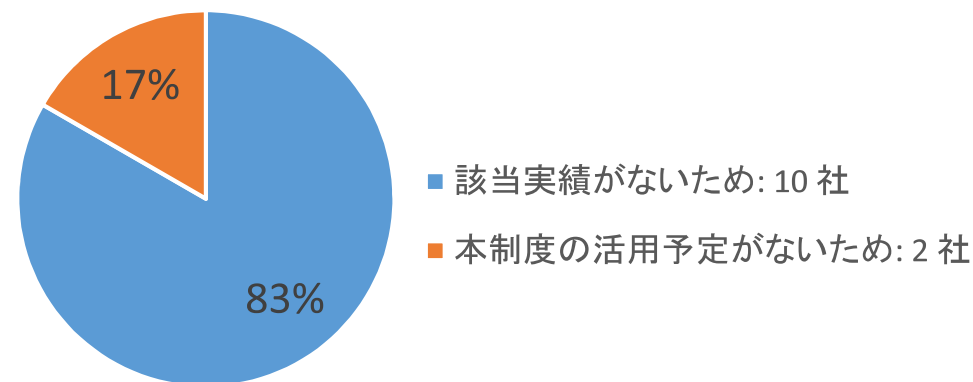
認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q22

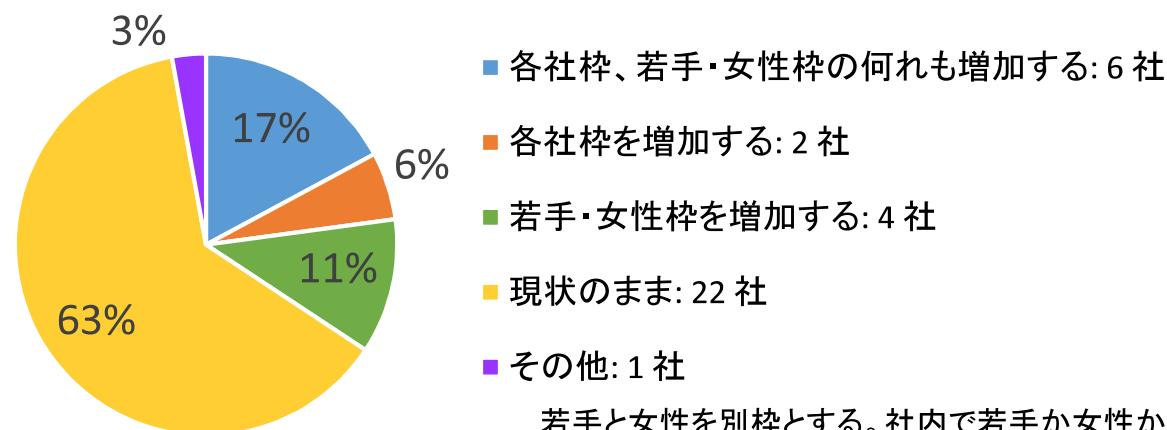
【表彰】表彰対象期間を過去5年(現行)を前提とした場合、2021年度の表彰応募の見込みについて教えてください。(現行の各社1名、若手又は女性であればさらに1名の応募制約に基づいた場合)


Q23

【表彰】22で、“見込みなし”に回答頂いた方に質問します。応募の見込みなしとした理由をお聞かせください。(複数回答可)


Q24

【表彰】表彰応募人数は現在各社1名、若手又は女性の技術者であればさらに1名としておりますが、現在から応募人数を増やすことへの希望があれば教えてください。(その他、何かありましたら自由に記述してください)



若手と女性を別枠とする。社内で若手か女性かを選定することとなり結果として男性若手が選定されてることが多く女性応募の機会が減りやすい

認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q25 【共通】認定・表彰制度の申請・応募方法でわかりにくかった点がありましたら、自由に記述してください。

Q26 【共通】その他、認定・表彰制度に対して、ご意見・ご要望等ありましたら、自由に記述してください。

【応募対象について】

- 認定・表彰制度の対象を元請業者に限定されていたが、技術者がそのプロジェクトで果たした役割が評価されるべきと考えるため、元請け・下請けの区別なく、本制度の対象とすることを検討してほしい。
- 外国人職員の取り扱いについてわかりにくかった。国内工事に従事する予定のない外国人職員は申請していなかったが、監理技術者・現場代理人相当の従事者が外国人であった場合はその職員も認定されていないと工事のコリンズ登録自体ができないことが後でわかった。またコリンズに海外企業とのJVで取り組んだ工事を登録する際も手続きがわかりにくかったので柔軟に対応できるようにしてほしい。
- 認定について：退職者がいる場合、その方を認定申請できないので事業自体が認定されない。少なくとも契約書などで間違いなく業務遂行を証明できる場合は、認定できる方法としてほしい。
- 申請した各社によって、認定する技術者の技能・業務レベルが異なっている。技能レベルの共通認識・統一見解が必要である。
- 申請資格が不明瞭で問合せと確認に時間を要した。申請資格にある「政府機関に準じる法人」を明確にしてほしい。提出資料は発注者発行の「完工証明書」、または同等の書類(竣工日または検査完了日等が記載されている資料)としてはいかがか。

認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q25 【共通】認定・表彰制度の申請・応募方法でわかりにくかった点がありましたら、自由に記述してください。

Q26 【共通】その他、認定・表彰制度に対して、ご意見・ご要望等ありましたら、自由に記述してください。

【申請手続きについて】

（工事・業務の対象期間）

- 工事の完了の定義につき融通のきくものとしてほしい。（例えば施工の何%以上完了、など）海外工事では発注者との契約上の協議に時間がかかったり、発注者や他者の都合でごく一部を残して完工ができないケースなどで実質大部分が完了した時期と完工証明の発行時期が大きく乖離するケースがある。
もしくはそれもカバーできるように対象期間をさらに長くしてほしい。
- 審査担当者から調査業務の従事期間について（2～4カ月の従事に対し）『「短期」の従事であると思われるのですが、当該技術者が「認定の対象となる技術者は、主要な構造物の工事に一定の期間責任を持って関わったと企業等が認める技術者」であることを示す資料があれば追加送付願います』との指摘を多数受けた。調査（FSや概略設計）においては4カ月の従事は決して短期の作業工期でない（弊社の過去10年のFS調査を平均すると1人当たり平均2.9カ月でした）。業種特性による作業期間の判断基準の設定が必要ではないか。
- 経歴に記載するプロジェクトの従事期間の目安がなく、3カ月程度は短いので追加資料を求められた。あらかじめ従事期間を明記いただけるとわかりやすい。

（申請書類）

- 「記載事項の裏付けとなる参考資料を適宜添付」とのみ記載があり、必要となる証書のレベル感が不明瞭であった。海外案件では工期が長く変更も多い。契約書は原契約で契約の存在が確認できればよいのか、テクリス上で最終的な金額を判断できる材料があればよいのか、原契約から最終変更契約まで全てそろえる必要があるのかなど、簡潔な提出物が望ましい。
- 当初要求されている資料は工期の分かる契約書であったが、完工証明書の提出とするのがよいのではないか。

認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q25 【共通】認定・表彰制度の申請・応募方法でわかりにくかった点がありましたら、自由に記述してください。

Q26 【共通】その他、認定・表彰制度に対して、ご意見・ご要望等ありましたら、自由に記述してください。

【技術者表彰について】

- 若手・女性どちらの枠もあると良いのではないか。
- 技術者表彰の当落判定基準を明確に公開いただくのがよい。
- 表彰制度の受賞者の選考基準「技術力・創意工夫・貢献度等」が明確でなかった。もう少し具体的な説明があれば社内選考時点で考慮できた。

【国内工事・業務での評価について】

- 現状、各地方整備局で表彰者に対して段階選抜で配置予定技術者の加点があるが、表彰者が海外工事に従事しており、すぐに国内工事に従事することができないので、出来れば企業点への加点に変更してほしい。
今回、申請したプロジェクトに従事していた別の技術者を次回に申請させてほしい。
- (認定・表彰の決定時期について)今後、国交省直轄の入札案件の評価対象となる場合は、遅い。

【今後の活用について】

- 本制度の申請をすることで海外プロジェクトに従事した技術者が国内事業への参加が促進されることは理解できるが、もうひとつの目的である「国内の技術者の海外工事等への参画を容易にすること」に資する認定も実施されると良い。また、その認定がJICA調達において評価される仕組みが構築されることを期待している。
- 国交省直轄案件で予定されている本制度の今後の活用方法を提示してほしい。

認定・表彰制度についてのアンケート結果

Q25 【共通】認定・表彰制度の申請・応募方法でわかりにくかった点がありましたら、自由に記述してください。

Q26 【共通】その他、認定・表彰制度に対して、ご意見・ご要望等ありましたら、自由に記述してください。

【コリンズ／テクリス登録について】

- 本制度は、プロジェクトの内容を認定しないため、認定後の活用方法、コリンズ登録との関連性がわかりにくいと感じた。次回の要領において明確にしてほしい。
- 技術者登録にあたり退職者や転職者の扱いをどうするか。過去5年間の工事に従事していた技術者が転職している場合に、コリンズ登録技術者として遡って登録することが出来ない問題がある。
- 既に「認定」頂いた31業務のうち21件についてテクリス登録確認願の返信待ちとなっている。国交省発注ではない業務の認定に時間が掛かることは理解できるが、いつ頃完了できる見込みか知りたい。
- 技術者認定の申請時に、コリンズ確認願いを提出した。技術者認定の結果をメールで通知いただいた際、コリンズ確認願いについては、結果を別途連絡するとメールに書かれてあったが、その後、まだ連絡を受けていない。 ※他同様の意見複数

【その他】

- 請負金額の記載で為替レート、JVでの構成比率を回答する必要があるのではないか。